講師紹介

竹野 俊夫（能力開発教授）

高度ポリテクセンター能力開発教授。陸上自衛隊予備自衛官（技能・整備）2等陸曹。ウガンダ島で自動車整備を指導。また企業の現場で設備の保守メンテナンスや保全方法を幅広く支援。

【著書】
「目で見てわかる稼げる機械保全」、「目で見てわかる稼げる電気保全」、「目で見て分かる稼げる設備保全」、「作業手順書のつくり方・使い方」(日刊工業新聞社)など

竹中 秀夫

グンゼ（株）出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育・人事と広範囲な業務に従事。
東京都生産性革新スクール校長。

申し込み・受講の流れ

1. 申込方法

受講申込書をWebサイトからダウンロードし、記入のうえ、ご郵送ください。

▼ Webサイト

【WebサイトURL】 https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/0007.html

【郵送先】〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 東京都産業労働局秋葉原庁舎5F
公益財団法人東京都中小企業振興公社　総合支援課　生産性向上担当宛

2. 受講料振込

初回実施日までに、当公社が指定する口座へ受講料をお振込みください。

3. 受講について

受講期間は、9月15日から10月13日までの全5日間

4. 修了要件

全体の出席率が8割以上の場合に修了証を発行します。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

総合支援部 総合支援課

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F

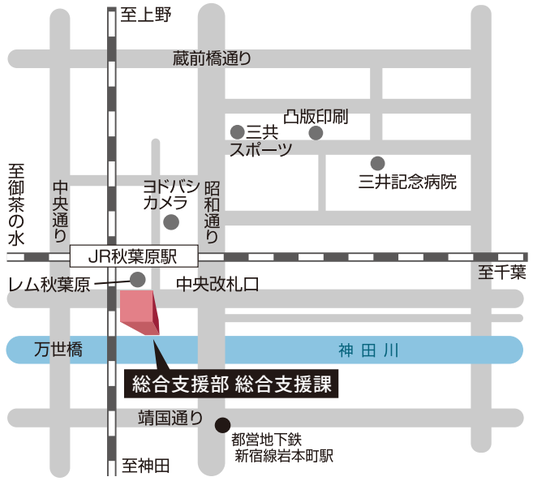
TEL：03-3251-7917

E-mail: seisansei@tokyo-kosha.or.jp

[ホームページ]

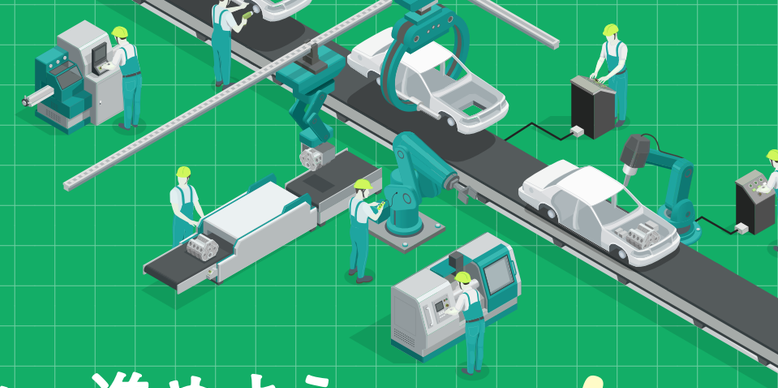
http://www.tokyo-kosha.or.jp/

● JR「秋葉原駅」中央改札口徒歩1分



令和3年7月作成。本紙の内容は、予告なく変更する場合がございます。

募集期間
令和3年 8月3日（火）～ 9月3日（金）



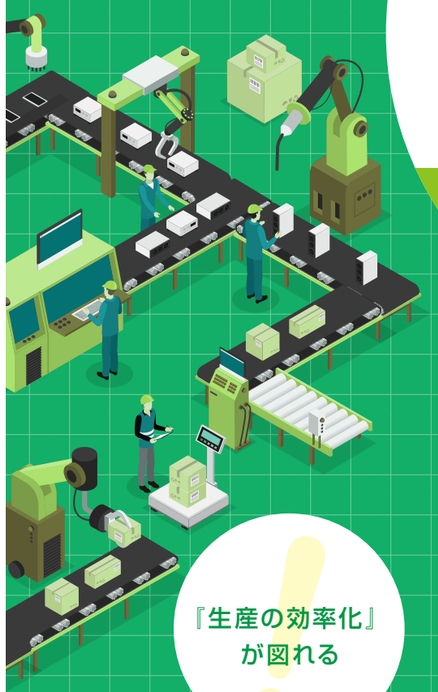
さぁ、進めよう
『技術・技能の標準化』!!

第3期 受講生募集案内

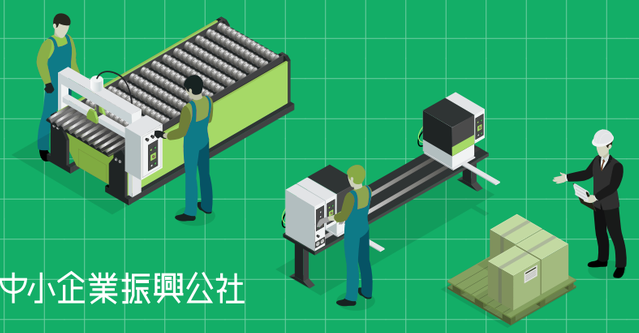
Webで開催します！

東京都標準化活用スクール

東京都生産性革新スクール 補完スクール

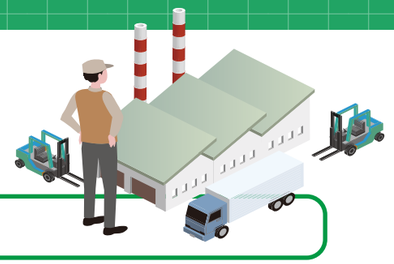


- 『生産の効率化』が図れる
- 『技術・技能』がレベルアップする
- 『品質』が安定・向上する
- 『技術・技能』を蓄積・伝承する



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

東京都標準化活用スクール



1.「技術・技能の標準化」を行う必要性

現在、少子高齢化が進み、人手不足が深刻化しています。加えて、働き方改革の浸透や新型コロナウイルスの感染拡大等、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。
このような状況下において、製造現場の生産性向上の為には『生産管理』と『設備管理』の両面から取り組む必要があります。『東京都標準化活用スクール』は「設備管理」面からの生産性向上を目的とし、

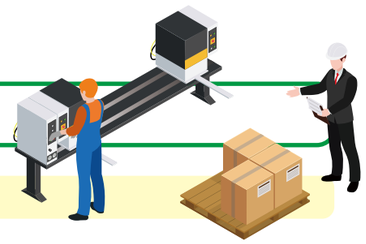
1 熟練技術・技能者が保有している知見やノウハウの次世代への円滑な引き継ぎを図ること

2 現在保有している機械設備の有効活用を実現する為、自主保全体制を構築すること

この2点の達成を目指す5日間のスクールです。

2. 標準化とは

標準化とは、ルールなどの取り決めである標準を意図的に作って利用する活動です。
また、誰がやっても同じようにできるようにするための取組として、作業工程ごとに一定のルールを定め、そのルールに沿って各従業員が作業を進めることを技能・技術の標準化といいます。



3. 標準化のメリット

技術・技能の蓄積と伝承

個人が保有する技術・技能を、企業の技術・技能として蓄積、伝承できる。

品質の安定・向上

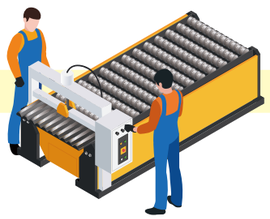
安定した生産で、技術・技能のバランスが抑えられ、品質が安定・向上する。

技術・技能の向上

蓄積した技術・技能をベースとして、さらなるレベルアップが可能となる。

生産効率の向上

作業工程間で理解が深まり、業務が円滑に流れ、生産の効率化が図れる。



受講生の募集について

＜募集期間＞	令和3年8月3日（火）～9月3日（金）
＜受講期間＞	令和3年9月15日（水）～10月13日（水）
＜募集定員＞	10名（先着順）
＜受講対象＞	都内中小製造事業者の現場責任者、または幹部候補、リーダー等の方で、生産技術や設備管理に関する基礎知識を有する方。
＜受講料＞	3万円（税込）※振込による事前支払い
＜講義時間＞	10:00～16:00（12:00～13:00は昼休憩となります）

カリキュラム

原則 Webにて実施

・Zoomを利用したオンライン授業にて実施します。
・インターネット環境、メールアドレスが必要です。

日数	実施月日	10:00 12:00	13:00 16:00
1	9月15日（水） Webにて実施	講義（基本事項の確認） ・なぜ、標準化が必要なのか ・生産性を向上させる技術・技能の標準化 （重要性をゲームを通じて理解する）	・なぜ、設備保全が必要なのか ・安全管理と5S活動の重要性 ・電気の基礎知識（基本）
2	9月22日（水） Webにて実施	事例研究（講義に加え、トルクレンチ等の正しい使い方、破損したベルト、モーターを持ち込み原因を探る） ・伝動装置・軸受等の設備稼働を向上させる効率的管理	・設備稼働を向上させる標準化（可視化）の方法 ・まとめと次回までの研修課題
3	9月29日（水） Webにて実施	特別講義（推進モデル企業とWebを繋ぎ、基本事項の重要性、これからの設備管理について学ぶ） ・特別講義1：現場技能の重要性と基本事項の徹底 ・補講：ポカミス、ポカよけについて	・特別講義2：これからの設備管理（AI、IoTの活用） ・補講：標準化による品質、業務効率の向上
4	10月6日（水） Webにて実施	事例研究（講義に加え、電気配線（漏電等）の基本やコンプレッサー等を持ち込み、空圧設備の動作原理を学ぶ） ・空気圧設備の稼働を向上させる効率的管理	・設備稼働を向上させる標準化（可視化）の方法 ・まとめと次回までの研修課題
5	10月13日（水） Webにて実施	講義（技能伝承方法） ・効率の良い設備保全と計画保全の進め方 ・どのように技能を見える化し、伝承するか	推進モデル企業とWebを繋ぎ、事例紹介 ・設備効率の向上と設備保全の重要性 （計画保全の取組み事例から、推進方法を学ぶ） ・修了式

（注）9月22日及び10月6日は、コロナ感染状況により、リアルでの実施を検討する場合もあります。